

耐震診断表
(一面)

ブロック塀点検表

表に従って点検してください。

A. 基本性能の点検（基本性能値）

点検項目	基準点	評価点
建築後の年数	10年未満	10 ①
	10年以上、20年未満	8
	20年以上	5
	昭和56年5月31日以前	0
高さの増積み	なし	10 ②
	あり	0
使用状況	塀単独	10 ③
	土留め・外壁等を兼ねる	0
塀の位置	塀の下に擁壁なし	10 ④
	塀の下に擁壁あり	5
塀の高さ	1.2m以下	15 ⑤
	1.2mを超え、2.2m以下	10
	2.2mを超える	0
塀の厚さ	15cm以上	10 ⑥
	12cm	8
	10cm	5
	10cm未満	0
透かしブロック	なし	10 ⑦
	あり	5
鉄筋	あり	10 ⑧
	なし	0
	確認不能	0
控え壁	あり	10 ⑨
	なし	5
	高さ120cm以上でなし	0
かさ木	あり	10 ⑩
	なし	5
基本性能値（①～⑩の評価点の合計）		a

B. 壁体の外観点検（外観係数）

点検項目	係数	外観係数
全体の傾き	なし	⑪
	あり	
ひび割れ	なし	⑫
	あり	
損傷	なし	⑬
	あり	
著しい汚れ	なし	⑭
	あり	
外観係数 (⑪～⑭の最も小さい評価係数)		b

C. 壁体の耐力点検（耐力係数）

点検項目	係数	耐力係数
ぐらつき	動かない	c
	わずかに動く	
	大きく動く	

D. 保全状況の点検（保全係数）

点検項目	係数	保全係数
補強・転倒防止 対策等の有無	あり	d
	なし	

総合評点の算定

ブロック塀の点検表から、総合評点を求めます。

基本性能値	外観係数	耐力係数	保全係数	総合評点
a	b	c	d	e
	×	×	×	=

判定

総合評点から、点数結果が判定されます。

総合評点	判定	今後の対応
70点以上	安全です	3～5年後にまた点検しましょう
55点～70点	一応安全です	1年後にまた点検しましょう
40点～55点	注意が必要	精密点検を行い、再度判定するか、転倒防止対策等を講じましょう
40点未満	危険です	早急に転倒防止対策を講じるか、撤去しましょう

※ この点検表は、長野県エクステリア建設業協会のパンフレットに基づいています。

55点を下回るブロック塀は、補助対象（危険）となります。

申請者氏名

(二面)

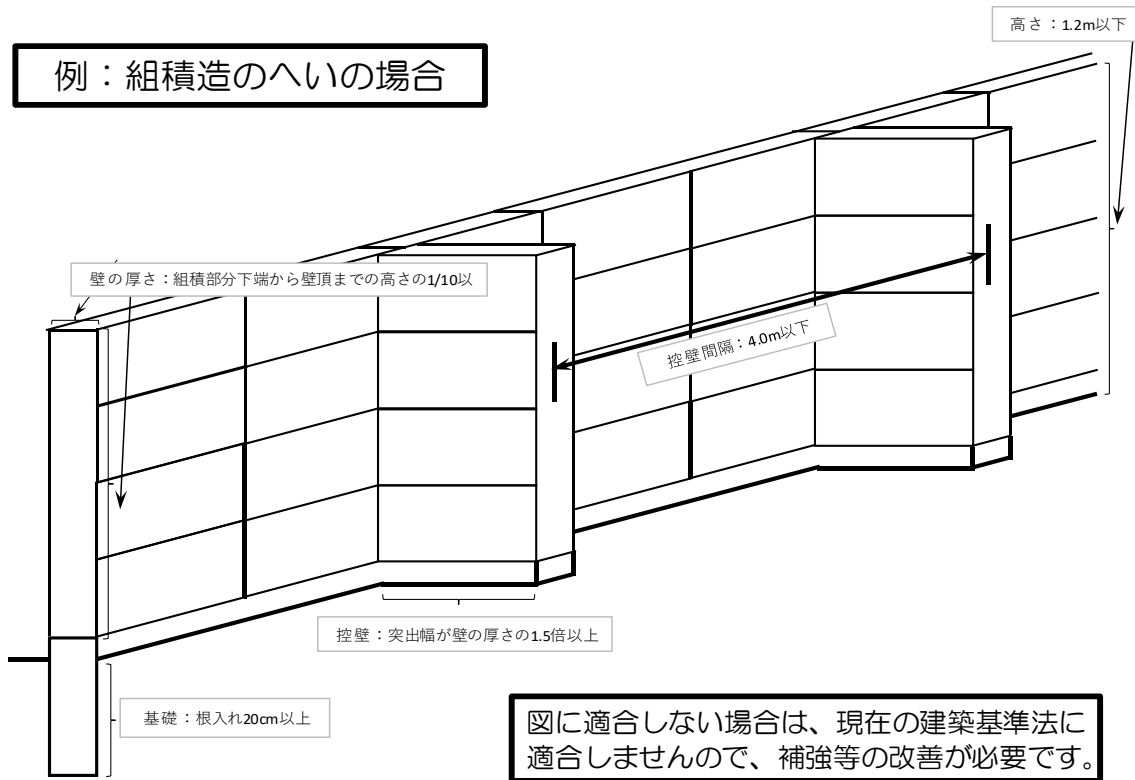
組積造 (ブロック塀以外) のへい 点検表

	項 目	チェック
【1】	高さは <u>1.2m以下</u> である。	<input type="checkbox"/>
【2】	壁の厚さは、組積部分下端から壁頂までの高さの <u>10分の1以上</u> である。	<input type="checkbox"/>
【3】	<u>長さ4m以下</u> ごとに、壁面からその部分の壁の厚さの <u>1.5倍以上</u> 突出した <u>控壁</u> がある。 (【2】の基準の壁の厚さが1.5倍以上ある場合、控壁がなくても【3】はチェックしてください。)	<input type="checkbox"/>
【4】	基礎の根入れ深さ(地中部分の深さ)が <u>20cm以上</u> ある。	<input type="checkbox"/>
【5】	著しいひび割れ、破損又は傾斜がない。 (ぐらつき、傾斜がない。ブロックのずれがない。)	<input type="checkbox"/>

※ 上記チェックリスト全てにチェックがされたものが、安全な塀です。

※ 1つでもチェックが入らない項目があれば、補強等の改善が必要です。(補助対象(危険)となります。)

例：組積造のへいの場合



申請者氏名